

---

## 「脳病理標本作製による脳神経系疾患の病態調査」に関するお知らせ

---

このたび、当院で剖検を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学病院 IRB（倫理審査委員会）の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、その代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2000年01月01日から2025年5月31日の期間に埼玉医科大学病院にて開頭を含む病理解剖を施行し、最終剖検報告書が作成された患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

東京都医学総合研究所では中枢神経系特殊染色法の技術などの脳神経病理標本作製技術を所持します。当院は同研究所と連携し、この技術によって様々な脳神経疾患を対象に、統一した方法で脳病理標本作製し、病理解析を遂行していきます。この結果、多様な脳神経系疾患の病態解明、治療法開発そして患者のQOL向上に貢献できることが期待されます。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2028年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年7月21日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

剖検で得られた病理組織検体、検査データ、画像データ、診療記録（生年月、性別、病歴）

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 中央病部診断部において、研究責任者である岩下 広道が、個人が特定できないよう加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

当院で病理解剖された脳脊髄組織を、パラフィン包埋、薄切を行い、病理組織切片を作成します。

#### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学病院 岩下 広道（当院研究責任者）

・東京都医学総合研究所 関 絵里香（研究代表者）

#### 4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

<提供元機関> 埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

<提供先機関> 東京都医学総合研究所 所長 正井 久雄

#### 5. 試料・情報の提供方法等について

<試料> 追跡可能な輸送方法により、基盤研究機関である東京都医学総合研究所へ提供します。

<情報> パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。

#### お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学病院 中央病理診断部 岩下 広道

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 埼玉医科大学病院 中央病理診断部

電話：049-276-1164（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：hiwashita “AT” saitama-med.ac.jp（“AT” を@に置き換えてください）

○研究課題名：脳病理標本作製による脳神経系疾患の病態調査

○研究代表者：東京都医学総合研究所 関 絵里香